

一般質問の掲載について

一般質問の記事は、決められた文字数の中で、議員本人が質問・答弁の原稿を作成し、原則、原文のまま掲載をしています。

ここに掲載できない質問答弁は、八女市ホームページ等ご覧ください。各議員の顔写真横にあるQRコードをスマートフォン等で読み取ると、その議員の議会録画映像をご覧いただけます。

(データ通信料は利用者負担となります。)

ここが聞きたい！ 一般質問

質問者	質問事項	掲載ページ
松崎 辰義	1 環境問題について 2 教育問題について	7
橋本 正敏	1 令和3年8月豪雨の復旧について 2 八女市消防団の運営について 3 農業を維持・継続させるための施策について	7
堤 康幸	1 防災・減災対策と被災後の応急復旧について	8
三角 真弓	1 子育て包括的支援について 2 ひきこもりへの具体的な取り組みは 3 動物との共生や殺処分ゼロに向けた対策について	8
萩尾 洋	1 学校教育について	9
栗原 吉平	1 持続可能な地域公共交通体制について 2 黒木斎場の建て替えについて	9
森 茂生	1 新庁舎建設について 2 不登校対策について	10
川口 堅志	1 令和3年8月豪雨災害復旧事業について	10
高山 正信	1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について 2 人・農地プランについて 3 空き家・空き地対策について	11
高橋 信広	1 観光戦略について 2 地域コミュニティについて	11
田中 栄一	1 テレビ共聴施設について	12
牛島 孝之	1 男女共同参画推進系の業務について 2 交通弱者、買い物弱者について、八女市の考えは 3 八女市の教育問題について	12



映像配信
サイト



中学校の制服はなぜ統一されるのか

課長 出発点は性の多様化に今の制服では対応できない

不登校について 議員 国立教育政策研究所は「中1ギャップ」の語を、「問題行動等調査」の結果を見ると、小6から中1でいじめや不登校の数が急増するように見えることから使われ始め、今では小中学校の間の接続問題全般に「便利に」用いられている。とりわけ、その語感から中1になると突然何かが起きるかのようないメージや、学校制度の違いという外的要因が種々の問題の主要原因であるかのようなイメージを抱くと、問題の本質や所在を見誤り、間違った対応をしかねないと伝えている。これを踏まえて、小中学校と義務教育学校の不登校の違いをどう捉えているのか。

課長 小学校は基本学級担任制で部活はない。中学校は教科担任制で部活が始まり、定期考査など生活が一変する。小6から中1になった途端、生活スタイルが変わる。そういう意味で中1ギャップを捉えている。義務教育学校では小学校高学年から教科担任制や定期考査の試行するなど、徐々に移行することができると考えている。



勉強する子どもたち

令和3年8月豪雨の被害把握と復旧の目途は立っているか

市長 地区ごとに把握。災害査定申請し早期着工・完成に努める

議員 今年も山下地区が浸水した。昨年の答弁で大倉谷川からの放水路完成で浸水が防げるはずだが何故浸水したのか。今後の対策は、どうなっているか。

室長 放水路が一部未完成であった。現在検証中である。10月に県から北山地区区長会に説明会を実施し、12月に緊急対応策が示された。今後、地元説明会を行い早急な対応を要望していく。

課長 団員が各家庭を訪問しているか。団員数は適正か。

議員 団員の確保は誰が行っているか。団員数は適正か。

課長 シルバー人材センターや民間の農業ヘルパー、派遣会社など調査検討を進めている。

議員 農繁期の雇用確保の対策は。

課長 八女市には当てはまらない。

議員 特定地域づくり事業協同組合の導入は。

課長 八女市には当てはまらない。

議員 団員の年報酬額を検討していただけないか。

市長 他の自治体・国の考えを踏まえ研究する。

議員 農業を維持・継続させるための施策について

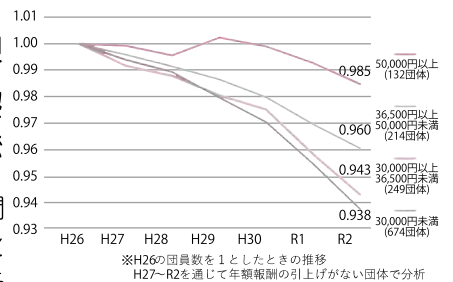
議員 今後地域の協力も考えている。定員の最適化に向けて研究していく。



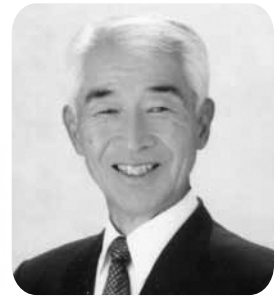
映像配信
サイト



年額報酬額別の団員数の推移



出典：「消防団員の処遇等に関する検討会最終報告書」(消防庁)
(https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-86.html)



映像配信
サイト



災害時の応急復旧の進め方の現状と今後の対応についての考えは

市長 第一、第二整備室に施設管理班を配置し応急作業に対応している

議員 高齢化の進行で道路愛護の防災・減災効果が低下している。このため地域でできない作業を市で行うよう各支所に予算措置されているが、予算執行の状況は。

課長 1支所は契約済で4支所は施工場所と業者が決定し契約する段階となっている。

議員 施設管理班の活動は、防災・減災の観点からも大変重要と考えるが、限られた予算の中で要望箇所が多く調整に時間を要した。今後ますます要望が増えると思われるので、早めに調整を行い確実に執行していく。

議員 応急復旧作業の優先順位の判定要件は、人命・生活に関わる箇所が最優先であり、二次被害が想定される箇所も早期対応が必要である。

議員 即応作業の担い手は。

室長 市としては施設管理班が対応している。地元施業の場合は労務費以外の費用を補助する要網を設け対応している。

議員 施設管理班の活動は、防災・減災の観点からも大変重要と考えるが、限られた予算の中で要望箇所が多く調整に時間を要した。今後ますます要望が増えると思われるので、早めに調整を行い確実に執行していく。

部長 施業に必要な最低限の資機材を保持し、通常は道路や河川などの維持管理に当たり、災害時には応急対策を実施している。今後もこの体制を維持し対応していく。



陰切りが必要な市道（黒木町）



映像配信
サイト



いじめ・不登校・ひきこもり対策は、妊娠期からの切れ目ない支援が重要

市長 ハイリスク妊婦や出産後の養育環境を含め多岐にわたり取り組む

議員 ひきこもりとは、その人の生活に表れた「状態」であり、国の実態調査の結果、その生きづらさの理由では、「自己否定感」が75%もある。本市の具体的対策は。

課長 対象者を絞り、社協と連携して支援の在り方を研究する。

議員 不登校児の学校の選択肢として、現在の学校選択制の規則を緩める。または小規模特認校の設置も視野に入れてほしいが。

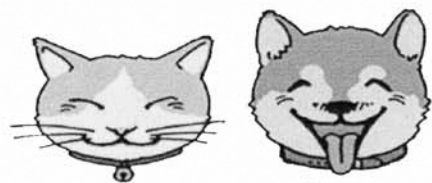
教育長 不登校は家庭環境などの要因が8割弱で、学校だけ変えても学校復帰は望めない。様々な要件を勘案し対応する。

議員 今、妊婦の3人に一人が鬱などと言われ、妊娠届出時から切れ目ない支援が必要である。家族生活の実態・母親自身・父親自身の生育歴等の把握等、重層的支援が必要では。

課長 アンケートや家庭訪問から支援につなげる。動物との共生や殺処分ゼロに向けた対策

議員 無償で去勢手術等を行う団体と意見交換を。

市長 検討する。



殺処分ゼロ

殺処分ゼロと動物との共生

猫の繁殖力は非常に強く地域のトラブルの原因。支援団体が捕獲した猫に無償で去勢手術をするための要望書の提出、猫を保護し譲渡する場所の提供、補助制度の提供を！



映像配信
サイト



学校の校則・心構え、多くの決まり事を生徒、保護者に周知徹底できているのか

課長 生徒・保護者の全てが理解しているか確認はできていない



議員 校則（学校生活規定）と心構えとはちよつと違うのではないか。あの小学校では、自分がされて嫌なことは人にしない、言わない、とたった一つの約束があるそうだが、約束を破ったらやり直しが効く、校則を破ったら罰せられる、それが現状ではないか。

議員 生徒にとつては、何かがあればと来い”と生徒の気持ちを受けとめるような先生がいると思わないでは全然違うと思うが。

課長 先生達が、生徒の心をどう受け止めていくか、どう返していくのか、そういう研修も組んでいく。個々の子どもたちの様子について検討するケース会議にもスクールカウンセラーやソーシャルワーカーにお願いして、児童生徒の理解、対処法について指導を仰いでいる。

課長 校則の運用等については、児童生徒の内面的な自覚、そして内省を促して自分の事として捉え、自主的に守るよう指導していくことが基本。

議員 校則について、保護者の方々が全て理解されているか確認はしていないとのことだが、やはり保護者の協力が必要ではないか。

課長 言われる通り、保護者の方の協力がなければ

校長の裁量・力量が問われるのかな

ふるさとタクシー、路線バスの地域公共交通体制の今後の方向性は



映像配信
サイト



市長 市民の通院、買い物支援など日常を支えていく

公共交通について

議員 ふるさとタクシー

エリア外への移動の検討と路線バスの利用促進は。

副市長 不便な面が出てきている部分も聞いていく。来年度見直し時期である八女市地域公共交通網形成計画の新たな計画策定に向け、しっかりと議論し取り組んでいきたい。

議員 特に山間部は移動に欠かせない自動車が必要だが免許返納と安全講習はどうされているのか。

課長 自主返納でタクシー共通回数券の交付を、安全運転のためドライビングスクールや自動車運転支援装置の普及を実施している。



八女市斎場基本計画

議員 黒木斎場の建て替えはどうなっているのか。

課長 統廃合を踏まえた規模の施設を検討したい。

議員 計画があるのに全く説明されていない。特に上陽、星野、矢部の地域住民は施設が統合されるといろいろ問題があるが、基本設計より住民説明が先ではないのか。

課長 今年度基本設計の中で事業規模を積算した後、住民説明会を実施したいと考えている。

住む地域がよくなるが、不便な地域はわかるが

森茂生

映像配信
サイト

新庁舎建設予算の凍結解除は早過ぎではないのか

市長 1日も早く完成させ、次の世代に譲り渡していく

不登校対策について
議員 不登校は、小学校が41名、中学校が74名と全国平均より非常に高いのでは。

課長 不登校の数が大変多い。きちんと取り組む。小規模特認校導入の考えは

議員 特認校制度は、校区外からも子どもを募集することにより、複式学級を解消する手だてとして導入されてきた。導入した学校は、小規模校のため、先生の目が行き届き、子ども達のストレスも少ないため、不登校だった子ども達が、学校に通えるようになる事例が全国的に出てきた。そ



のため、この制度が不登校対策になると認識されるようになった。八女市にも小規模特認校を設け不登校対策に活用したらどうか。

教育長 小規模校が悪い、大規模校がいいということとはない。それぞれにメリット、デメリットがある。

児童50人、不登校の先生は成績がよい、先成りな学校があるんですね。大阪の空小、障がい児が一緒に登校なし、残業なし、こんな学校

川口堅志

映像配信
サイト

令和3年8月豪雨の被害査定のスケジュールはどうなっているか

市長 10月26日から始まり12月10日に終了予定である

議員 被害査定の金額はどれくらいか。

室長 公共土木が14億6600万円、農地・農業用施設が3億3200万円となっている。

議員 国・県・市の管轄は当然公費で実施されるが、個人所有の用水路を災害復旧に認定できる場合もあるのか。

室長 農業用の水路などは、農薬用施設については、国土調査後の公図に水路の筆がある事、併せて受益者2戸以上という要件がある。個人所有の水路は、公図に水路の筆がなく、受益者1戸では採択



令和3年8月豪雨災害
個人所有の茶畑とそこに通じる農道被害箇所

に合わない。そこで市では小規模土地改良事業補助等に対応できるか把握している。

議員 個人所有の農道についての補助金等あるのか。

室長 農道についても個人所有の水路と同様の考えである。

議員 災害査定にできない被害はあるか。

室長 家庭菜園や研修・研究目的の農地などは対象とならない。災害復旧については、市民の相談の対応に努めているところである。

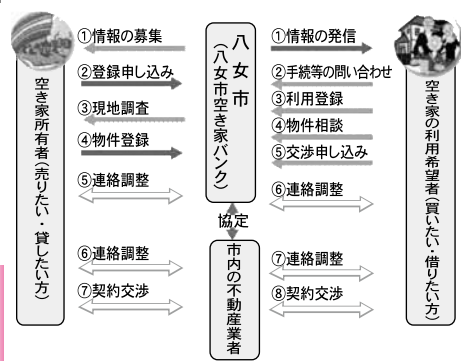


映像配信
サイト



空き家を改修して、就農体験などで 拠点となる建物を確保できないか

市長 移住の問題は重要な課題。前向きに検討していきたい



空き家バンク制度

議員 今後、空き家が老朽危険家屋になると危惧しているが、何らかの対応が必要では。

課長 空き家バンク制度の周知や広報に力を入れていきたい。

まち・ひと・しごと創生総合戦略について

議員 人口減少克服や地域創生の推進のために、委員会などを設置して、各課横断的な検証が必要ではないか。

課長 全庁的な連携という観点から、総合戦略の検証、推進をどういった体制で取り組めばいいか研究していきたい。

議員 新たに取り組む事業、強化される事業は。

課長 新規就農を含む担い手の育成、機械の導入などの生産条件の整備を重点的に進めている。

課長 荒廃森林整備、担い手対策などの支援も継続的に進めることはもとより、新たに森林経営管理法に基づく制度事業を実施するための計画準備を進めている。この制度を活用し、施業管理を行える森林については、自伐型林業者などにも経営管理が任せられるような事業のシステムを構築していきたいと考えている。

業のシステムを構築して



映像配信
サイト



新しいべんがら村の役割を どのように考えているのか

課長 観光案内スペースを設け観光の核となる施設にしたい



福岡都市圏からの誘客の役割も担う八女本舗

※八女フィルムコミッション：八女市に映画やCMの撮影等を誘致するために設置した組織

議員 観光協会が統合されたが、今後の展開をどのように考えているのか。

課長 観光協会では、八女フィルムコミッションの事業に取り組む等、統合によるスケールメリットを生かしたい。

議員 べんがら村は今後の目標を踏まえて、どのような展開にするのか。

課長 ここを拠点に奥八女に誘導させる大きな機能を持たせる。また、新設の八女テラスを活用して誘客を図るなど、市民とともに観光客の増大を図り、将来的には利用者77万人を目標としている。

議員 新たな八女本舗はどのように変わるのか。

課長 酒類の販売が可能となり、客単価アップが見込める。情報発信を強化するため日曜日も開店する。

行政の在り方とは？

議員 行政区の統合を推進する大きな理由は、

課長 将来を見据えて持続可能な行政区運営を維持するために検討が必要と考える。

議員 行政区の在り方についてその後の見解は。

市長 地域の絆が最も大切で、お互いが助け合う時代にあり、そのことを十分踏まえて考えていく。

中山間地のTV受信共聴施設の改修工事等に、市から補助はできないか

市長 自主運営経過や他の住民との負担の公平性の考慮が必要



田中栄一

映像配信
サイト



デジタルTV中継局の電波が受信できないところはTV受信共聴施設が必要

出典：総務省ホームページ
(<https://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/housou/catv/kaishuu/aremot.html>)

※光ケーブル網
八女市には光ケーブルが張り巡らされ、インターネット接続などに利用されている。

- 議員** 市内のTV共聴施設の実態はどうか。
- 市長** 市内には79施設が設置され、維持管理は利用者による組合組織が行っている。
- 議員** 負担金など共聴施設以外の住民との不公平感を強く感じる。実態調査の施設数や個人負担をどう受け止められたか。
- 副市長** 自分たちで自主運営されているのは非常にありがたい。
- 議員** 光ケーブル網を利用したケーブルテレビネットワークを研究する考えはないか。
- 副市長** 費用対効果が大きな問題であり、そこま
- 議員** 市の考えはまだまだ持っていない。
- 議員** 補修や自然災害、光化改修への国、県の補助制度はあるか。
- 市長** 国、県からの支援制度はない。
- 議員** 他の住民との負担の公平性を考えるなら、改修等に補助すべきではないか。
- 市長** 今後の課題として念頭に置いておきたい。

中山間地は居住不
利地域。市内全域
に太陽の光と暖か
さが届く政策を。

交通弱者、買物弱者対策について八女市の考えは

市長 今後の状況を注視していく必要がある



牛島孝之

映像配信
サイト



- 議員** 矢部支所、星野支所の庁舎の中にコンビニを入れることはできないか。
- 課長** その辺は一つの案としては考えられると思うが、慎重な進め方が必要になってくると思う。
- 八女市の教育問題について**
- 議員** 将来の八女市の公立小中学校の再編について、どのように考えているのか。
- 課長** 将来の学校の再編等については基本計画、基本構想にのっとり、進めていく。
- 議員** 校舎建設に合併推進債は使えるのか。
- 課長** 教育施設への環境整備等に係る財源については、制度上は合併推進債の対象となりえる。
- 議員** 義務教育学校の推進というのは、文部科学省からの指導なのか、県の教育長からの指導なのか、あるいは、市教育委員会からの指示なのか。
- 課長** 国や県からの指示はないし、教育委員会からも言うことはできない。協議会の中で、多くの方々から義務教育学校という意見があるということは何っている。